

市議会だより

はまだ

平成25年(2013年)8月1日発行

Vol.30



第33回高円宮賜杯全日本学童軟式
野球大会スクッドナルド・トーナメ
ント全国大会初出場です!!

6月定例会 めだま記事

観光協会助成事業の執行保留を解除

2P

議会報告会を開催しました

6～8P

市政を問う (16名が個人一般質問で論戦)

13P

平成25年6月浜田市議会定例会が6月10日に召集され、6月25日までの16日間の会期で開かれました。

提出された議案は14件、請願1件で、各委員会等での審査の様子は2ページから3ページに掲載しています。

今定例会では、予算審査委員会において、7月以降の予算が執行保留となっていた「観光協会助成事業」について質疑を行いました。詳細につきましては、下段に記載しています。

また、個人一般質問には16人が立ちました。一般質問については、13ページより掲載しています。



観光協会助成事業の 執行保留を解除！

— 予算審査委員会 —

予算審査委員会に審査を付託された平成25年度浜田市一般会計補正予算(第2号)について審査を行いました。質疑が重複した事業は、「地域安全まちづくり事業」で、宝くじ助成事業の状況や、防災資器材の充実などについて質疑があり、執行部から

は、これまで31団体中10団体が宝くじ助成事業の助成をうけている。未整備の団体については、市の助成制度や補助事業を活用し防災資器材の充実を進めたいと答弁がありました。

また、「介護基盤緊急整備事業」については、助成金の上限額や第5期介護保険事業計画と事業の施設整備計画との関連性などについて質疑があり、執行部からは、助成金は1千万円が上限額であること、関連性では、デイサービスについては、利用者の見込み数はうたっているが、施設整備数は具体的には定めていないとの答弁がありました。

「子ども・子育て支援事業計画策定事業」については、ニーズ調査の内容や対象件数5千件の根拠、子ども・子育て会議などについて質疑があり、執行部からは、調査はコンサルタントに委託するもので、就学前後の約5千5百人が対象となること、会議としては、

既存の浜田市保健医療福祉協議会の下部組織として専門部会を設け、計画案を作りたいとの答弁がありました。



採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

また、7月以降の予算執行が保留となっている「観光協会助成事業」について、議会初日の全員協議会であった調査報告に基づき、所管事務調査として質疑を行いました。

委員からは、協会内部のチェック体制、組織の体質、担当課との連携といった組織への質疑がありました。執行部からは会計担当者の増員、市の指導・チェック体制を

含め改善していくとの答弁がありました。

また、決算剰余金について、減価償却費相当分を積み立てて行くべきや、助成金額を見直すべきなど、協会の会計、決算等についての質疑もありました。執行部からは、今年度中には減価償却費相当額を積み立てていきたい。助成金については毎年度精算処理をしているが、金額については、今後十分精査していきたいとの答弁がありました。

その他、担当課と協会の連携や法人化の内容、そのメリット、正味財産の増減などについて質疑がありました。

審査の結果、不正は無く、会計処理上の誤りであったこと、また、今後の観光協会の体制及びチェック機能についての改善が図られていたこと、担当課と協会との連携をより密にするのとこととであり、調査報告を了解し、全会一致で7月以降の予算執行を認めることに決しました。

陳情「上府公民館の新設」 は継続審査に!

— 総務文教委員会 —

と決しました。

最後に、上府公民館をはじめ、上府地域5団体から提出された陳情書「上府公民館の新設について」の審査は、事前の所管事務調査において、執行部より「公民館整備の在り方」や、同様の内容で市長宛てに提出された要望書の経緯などの説明を受けたあと、審査に入りました。

総務文教委員会に付託された、議案4件、陳情1件について審査を行いました。

「財産の取得（消防救急デジタル無線活動波無線装置）」について、入札については5社の指名業者のうち、2社が応じたとの答弁がありました。また、「財産の無償譲渡（旧美又へき地保育所）」については、譲渡後の修繕の質疑に対し、すでに補正予算で計上してあり、地元として使える施設に大規模改修が予定されているとの答弁がありました。議案4件は、それぞれ採決の結果、全会一致で可決すべきもの



▲旧美又へき地保育所

委員からは、建設の必要性は認めるものの、地元からとったアンケートの内容、これまでの使用実績や行事の状況などもう少し調査を深めるべきとの意見がでました。より詳しい資料提出や、参考人招致を行うなど、継続して審査を行うことに全員が賛同し、継続審査となりました。

「年金2.5%の削減中止を 求める意見書の提出」は 賛成少数で不採択に

— 福祉環境委員会 —

福祉環境委員会では、請願第26号「年金2.5%の削減中止を求める意見書の提出」について審査を行いました。

執行部より年金の被保険者（加入者）の減少や平均寿命の延び、さらに社会の経済状況を考慮して年金の給付額を変動させる、マクロ経済スライドなどの説明を受けました。今年10月から3年間で年金を2.5%削減する浜田市の影響額は国民年金、厚生年金など6億8千万円で、これに加え年金と連動して同じスライド措置が採られて



いる、ひとり親家庭や障がい者等の手当の特例水準についても影響額があると報告を受けました。

一方、低所得者の年金受給者に対しての生活支援金は、27年度10月から月額最大5千円支給されるとの説明もありました。委員からは、今後消費税の値上げもあり、物価が上昇する状況も見える中であるため、賛成する意見。法に基づいたスライドに沿ったものであることから、年金給付と保険料の関係からすると、次世代にあまり大きな負担をかけないような年金額の調整ということから判断し、今回の削減には賛成するなど反対意見もありました。採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。

大雪に備えて

— 産業建設委員会 —

産業建設委員会に審査を付託された議案4件について、審査を行いました。

まず、「財産の取得（除雪ドーザーロータリー併用型11t級）」について、委員からはこの除雪機械購入に伴い、除雪面積、耐用年数、機種説明、予算内訳、オペレーターの確保等についての質疑がありました。

それに対し執行部からは、今回の購入で計12台の配置体制となり、市道のみでなく県道も含んだ弥栄町内の全域をカバーできる。除雪面積については深さ30cm程度の雪でほぼ1日での除雪が可能となる。機種の耐用年数



▲除雪ドーザーロータリー

は15年で、ロータリー併用型とは平常時には前部にある除雪板で雪を押し除雪を行うが、併用型は除雪板を外し、ロータリー式のアタッチメントを取り付ける仕組みとなつている。予算内訳とオペレーターについては平成24年度末に国の大型補正があり3分の2が交付金である。オペレーターは市から建設業者や農業法人に委託し、市の保有機械で作業しているとの答弁がありました。

その他、「工事請負契約の締結について（浜田市本庁舎耐震補強その他工事）」について、「市道路線の廃止と認定」についてなど、付託を受けた議案4件について、採決の結果、全会一致で、可決すべきものと決しました。

議会報告会を開催しました

このたび第2回目の議会報告会を5月8日から14日までの5日間市内10会場で行い、多くの方に参加していただきました。ありがとうございました。



日時	開催会場	参加者
5月 8日(水)	美川公民館	15人
	弥栄会館	19人
5月 9日(木)	国府公民館	14人
	石見公民館	32人
5月10日(金)	浜田公民館	27人
	旭センター	32人
5月13日(月)	長浜公民館	28人
	三隅公民館	34人
5月14日(火)	周布公民館	17人
	金城みどり会館	51人

この報告会は昨年同様、チラシの作成、配付、ポスターの配付、市民への周知など準備段階から議員自ら行うものです。

当日は会場準備のほか、班ごとに司会者・発表者・記録者など担当を決め、会の進行、発表、記録をとるといったような会の運営です。

当日報告した内容は次のとおりです。抜粋して紹介します。

①3月定例会の審議状況

産業建設委員会

「浜田市温泉事業条例の一部を改正する条例」では湯屋温泉飲料営業供給の使用量1㎡当たりの基本料金を減額するものです。減額改正について質疑を行いました。また、「過労死防止基本法制定に関する意見書の提出について」の請願を受け、採択すべきものとして決定しました。

総務文教委員会

「浜田市立図書館条例の制定について」ですが、中央図書館・三隅図書館の移転新築に伴い、これまでの浜田市立図書館条例を全部改正し、新たに条例を制定するものです。中央図書館の駐車場の使用料や減免規定、館内での飲食についてなど質疑を行いました。

福祉環境委員会

「浜田市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例」では、医療費助成児童の対象を小学3年生から6年生に拡大するものです。また、個人保証の原則廃止を求める意見書の提出について」の請願を受け、採択すべきものと決定しました。



予算審査委員会

「観光協会助成事業」では平成23年度分の浜田市観光協会の事業、決算を監査した市の監査委員からの会計処理や組織の運営など問題と思われるという指摘により、過去に遡って信憑性が疑われることが判明し、質疑が集中しました。改善に向けての取組等が説明されましたが、具体性に乏しく、当面の必要管理経費、春のイベント事業の経費を除き、執行については保留とし、次の6月定例会で、詳細な調査の結果や、決算書の提出を受けることとしました。

その他可決された主な事業として以下のとおりです。

- 旭統合小学校新築事業
- 浜田医療センターヘリポート支援事業
- 保育所入所受入推進事業
- 農地保全農地流動化緊急対策事業

②議員定数変更の過程、経緯

議会だより2月号で詳細はご報告させていただきましたが、概要については、次のとおりです。昨年5月のこの報告会では、定数について協議を行う場として議員定数等議会改革推進特別委員会を設けたことや、その審議の中で決まった方向性について、「全市1区、28人以下、削減ありきではなく委員会に必要な人数の積み上げ」ということをご報告させていただきました。

その後、市民の皆さんへのアンケート結果を加味し、具体的な数を出しながら協議を行いました。



22名…市民アンケートで望ましい定数として多くの意見があったこと。

浜田市と同様の人口規模の自治体の平均定数であること。

委員会審査で必要な議員数からの判断。

24名…議会の監視機能の維持、広範囲の住民の声を吸い上げる。

定数は偶数が望ましい。(議長を除いた時の採決時、同数となった時)

28名…市民と市政を繋ぐパイプ役として議員数は削減すべきでない。

自治区に配慮し現状のまま。

賛成・反対それぞれある中で、特別委員会として24名とする条例改正案を提案することとなりましたが、議員の中で反対する議員は22名にする改正案を提出しました。

投票を行い、採決の結果は、賛成15・反対11で、24名にする条例改正案が可決成立し、次回の選挙は議員定数を24名として行われることとなりました。

③重要案件の意見交換会について

これは、市政に関する重要なことに対して、議員と市民の皆さんが自由に情報及び意見の交換を行うことを目的に、浜田市議会が設けているものです。

昨年の12月には具体的に自治区制度、上下水道問題、中山間地域対策など7つのテーマを紹介し、皆さんとの意見交換を行なえることになりました。この7つとは限らず、その他重要だと判断される案件については、意見交換したいと考えています。

浜田市議会としての政策提案などに活かしていきたいと思えます。どうか、ご意見をお寄せいただきますようお願いします。



議会報告会で、いただいたご意見やご要望の総数は約80件でした。
これらの意見・要望は、【議会に関すること】【自治区制度】【まちづくり交付金】【公共施設のあり方】【ふるさとでの就業環境・企業誘致】【下水道整備計画】など、多方面にわたってありました。

これらの意見のうち、議会に関すること以外は、全て市長（執行機関）に意見・要望として報告させていただきました。

※議会・市長への要望、提言（主なもの）は次のとおりです。



意見等	開催会場
自治区制度は10年経過後どうなるのか。中山間地域は人口が減りどうなるのか心配している。議会側の意見、評価はどうか。	美川公民館
自治区制度は素晴らしい制度であり、今後も存続すべきだ。	弥栄会館
放課後児童クラブは3年生までだが、6年生まで預けることができるようにして欲しい。	国府公民館
遅れている下水道整備の取組について。	石見公民館
公共下水道事業計画について、市街地への計画はあるのか。	浜田公民館
自治区制度で周辺が伸びやかに活発であることが大事であり、自治区制度の検証が行われるが、なくすのか存続するのか。	旭センター
公民館が第1、第3日曜日に休館しているが、なぜ日曜日が休館なのか。全市一律でやっているのか。利用する側からは不便である。	長浜公民館
重要案件意見交換会は、テーマの各地域関係者が集えし意見交換を行うものか？そうであれば素晴らしいものであると考えている。 (例：中山間地域課題) →個人ではなく10名以上の団体で申し込む。	三隅公民館
水道料金がいずれ倍になると聞いたが、今後、市議会としてどう抑えていこうとしているのか。	周布公民館
まちづくり交付金について中心市街地ではうまく活用されていないと聞くが、全ての町でまちづくり委員会を立ち上げてもらいたい。	金城みどり会館

今回いただきました意見の中に、この議会報告会の意義についての質問がありました。

議会報告会は、目的として浜田市議会としての議会活動に関する情報を積極的に公開するとともに、市民の皆さんの意見を把握し、今後の市政運営に反映させるためのものです。

そのためにも、多くの市民の皆さんにご参加いただかないといけません。

報告会の今後の運営方法、周知の仕方など、検討しなければならないと考えています。



その他、議会に対する意見・要望については、議会内部で検討を重ねていきたいと考えています。

多くの市民の皆さんにご参加いただいて、意見を伺いこれからの市政運営に反映できるよう、今後、運営方法、周知の方法など引続いて検討していきたいと考えています。

平成24年度 他議会からの行政視察受入状況

浜田市議会では、各種事務事業について、議会関係者の皆さまからの行政視察の受入を行っています。昨年度は、下表のとおり、全国から14団体の議会議員の方々が、当市議会を通じて行政視察に来浜され、浜田市が現在行っている各種事業の内容などについて視察されました。

自治体名	来浜日	内 容
滋賀県米原市議会	7月19日	鳥獣被害防止計画について
秋田県湯沢市議会	7月20日	住民参加型市場公募地方債について 介護人材確保・定着対策事業について
佐賀県伊万里市議会	8月 7日	浜田地区広域行政組合エコクリーンセンターについて
三重県鈴鹿市議会	8月24日	どんちっち三魚 水産ブランドについて
青森県五所川原市議会	9月27日	住民参加型市場公募地方債について まちづくり総合交付金事業について
茨城県結城市議会	10月16日	自主防災組織について 市議会ホームページの取組等について
北海道士別市議会	10月25日	幼保小中連携ステップアップ事業について 住民参加型市場公募地方債「きらめき債」について
千葉県印旛郡町村議会議長会	10月25日	浜田市議会だよりの編集等について 浜田市議会ホームページの取組等について
東京都江東区議会	10月31日 11月 1日	介護人材確保・定着対策事業 「赤ちゃん登校日」授業参観（市内小学校）
千葉県銚子市議会	11月21日	水産物ブランド化事業（どんちっち三魚）について
三重県松阪市議会	1月16日	議会改革について 市議会ホームページについて 今後の両市における観光行政について
広島県三次市議会	1月22日	浜田市空き家等の適正管理に関する条例について
北海道旭川市議会	1月29日	骨髄バンクドナー支援事業について
徳島県三好市議会	2月 7日	浜田市空き家等の適正管理に関する条例について

請願・陳情の審査経過および結果 —平成25年6月定例会審査分—

区分	請願・陳情の内容	提出者	審査した委員会 および結果・経過等
請 願	年金2.5%の削減中止を求める意見書の提出 について	全日本年金者組合 島根県本部 執行委員長 中村 照 様	(福祉環境委員会) 不採択
陳 情	上府公民館の新設について	上府公民館 館長 河野 一 外4名 様	(総務文教委員会) 継続審査

教育改革と地域づくり 事業への取組について

— 総務文教委員会視察報告 —

4月24日から3日間、
鹿児島県南九州市、熊本
県水俣市、福岡県春日市
を視察しました。

南九州市知覧町は、太
平洋戦争末期の「特攻作
戦」で命を落とされた
方々の遺品や関係資料を
収集保存する「知覧特攻
平和祈念館」を運営して
おり、会館を利用した取
組等について研修しまし
た。様々な情報が飛び交
う今日、事実を伝え、正
しい平和学習の推進を
図っていくことは大切な
ことであり、当市におい
ても平和学習や人権学習
についてあらゆる機会と
場をつくっていくべきで

あると感じました。



水俣市では、極端な人
口減少および過疎・高齢
化に陥りながら、「二元気
な村づくり条例」を制定
し、地域資源を再認識し
ながら住民と地域が元氣
になる「村まるごと博物
館」等の取組を研修しま
した。地域の財産である
自然や生活すべてを「屋
根のない博物館」として
市が指定し、その地域に
県内外から年間千人を超
える訪問者があるこのこ
とでした。周囲にある自
然を活かし、新たな収入
源を見出す取組は非常に
興味深いものがあり、住
民が主役の取組として大
いに参考にすべき事業で
あると感じました。

春日市では、教育委員
会改革について研修しま

した。全国的にいじめや
不登校問題の解決は喫緊
の課題であり、その他に
も教育行政における課題
は山積しています。この
ような中、春日市での「学
校の権限委譲」「コミュ
ニティスクールの導入」
の取組は極めて素晴らし
いものでした。教育問題
は、学校現場の教員や教
育委員会だけの問題では
なく、家庭や地域と共に
考えていくべき問題であ
り、保護者や地域住民の
声を学校運営に反映さ
せ、学校・家庭・地域・
教育委員会が目標を共有
し、一体となって地域の
子どもたちを育み、地域
と共に学校をつくり上げ
ていくという取組は当市
にとっても大変重要であ
ると思われました。



公共下水道及び 自殺総合対策・子育てについて

— 福祉環境委員会視察報告 —

5月21日から3日間、
福島県会津坂下町、秋田
県秋田市を視察しました。

会津坂下町では、平成
19年度に国交省のクイッ
クプロジェクト社会実験
制度の採択を受けて全体
計画を建設コストの縮減
と早期整備の視点で見直
すとともに終末処理場も
「土壌被覆型隣接触酸
化法」での分割処理方式

の採用で、臭気等周辺環
境との違和感もなく必要
最小限の規模で建設及び
維持管理コスト縮減に成
功。浜田市においてもこ
の「ばげ方式」を積極
的に参考にしての事業着
手を急ぐべきとの思いを
強く持ちました。



秋田市では、平成18年

10月の自殺対策基本法の
施行を受け、平成19年度
に「秋田市自殺対策庁内
連絡会議」を立ち上げ、
毎年度計画的に連絡協議
会を開催するとともに
ネットワーク会議を設置
して民、学、官の連携強
化に努め、一体的に事業
を展開されている様子が
伺え、浜田市においても
国の自殺総合対策大綱に

沿って市民1人ひとりの
気つきと見守りを促すた
めの自殺対策に関する情
報提供と意識啓発の取組
の必要性を感じました。

また、秋田駅東口アル
ヴェに開設の「子ども未
来センター」を拠点とし
た秋田市子育て支援事業
について、現地視察にお
いての組織体制や事業概
要の説明を受けて感じた
ことは、充実した施設と
組織体制の環境にあつ
て、子育て支援事業を市
民協働で積極的に推進さ
れていることに感心しま
した。浜田市においても
子育て支援事業の推進拠
点でもある支援センター
の改築整備が必要である
と思われました。



大震災後の まちづくりを学ぶ

— 産業建設委員会視察報告 —

4月23日から3日間、栃木県小山市、宮城県気仙沼市を視察しました。浜田市には浜田・三隅自治区それぞれに、道の駅「夕日パーク」が2ヶ所あります。浜田についてはリニューアルし収益の向上を目指しています。が不況等により収益の目標達成ができていません。また、夕日パーク三隅も厳しい経営状況で、浜田・三隅道路が開通する平成28年度以降の経営見通しも立たない状況です。そこで全国有数の集客を誇る「道の駅思川」の視察を計画しました。「道の駅思川」は小山

市の「水と緑と大地」の豊かな自然と人々の高い技術によって生み出される農畜産物、商工芸品等の生産と発信、地産地消・食育の推進、そして都市と農村の交流を促進する拠点施設として、一般国道50号線に平成18年オープンしたものです。

この施設は事前の準備と調査に基づいた事業展開と、専門家による経営手法が集客と健全経営に繋がったと感じました。

また、東日本大震災発生から、気仙沼市は全国からの支援を受けながら復興を進めています。浜田市においても特定第三种漁港の縁から浜田市の職員派遣を中心とした支援を行ってきています。その気仙沼市の震災後の新しいまちづくり、水産加工団地等の建設方針や都市計画、道路整備を中心としたインフラ整備など、産業・建設面からの震災後のまちづくりについて視察を計画しました。実際の取り組み状況は、集団移転が大きな課題で、集落部では集落ご

との移転を促進し、市街地では気仙沼市誘導型による集団移転が実施されています。また、水産加工業では漁港背後に点在していた加工施設の集約化が進められ、水産業の早期復興と効率化に向けた総合的な整備が計画されています。

現地では震災の甚大な爪痕の中から瓦れぎ処理も進み、新しいまちづくりに向けた復興も2年経過した中で、力強く進み始めていると実感できました。

また、浜田市が送った黒松も確認でき、津波に流され九死に一生を得られた貴重な体験も聞くことができました。



さらなる議会改革 を目指して

— 議員定数等議会改革推進 特別委員会視察報告 —

5月15日から2日間検討中である「通年議会の導入」及び「予算審査のあり方」に関して先進自治体を視察しました。

まず「通年議会の導入」については熊本県御船町議会を視察しました。御船町は九州のほぼ中央に位置し、人口1万7888人、日本で初めて肉食恐竜の化石が発見され、「恐竜の郷づくり」を推進している町でもあります。

今回の調査には山本孝二町長も参加していた。だき、執行部、議会、町民の三者バランスの重要



性についての想いを聞かせていただきました。御船町議会は議会基本条例をすでに制定し、議会報告会、あおぞら会議（意見交換会）、議会モニター制度等様々な改革を実践しており、私どもが特に重点をおいていた通年議会も精力的に実施していました。通年議会は4月に町長が招集し翌年3月31日までを会期とし、ほぼ毎月本会議が開かれています。メリットとしては住民からの請願・陳情をスピーディに処理することができ、住民との距離感を縮めることが可能である点。逆にデメリットとしては

毎月的一般質問に係る執行部の負担や議員の拘束時間が大幅に増加する点との説明を受けました。



浜田市にとつて導入が本当に住民の利益に繋がるのか、十分な検討を要すると感じました。また議会モニター制度に関しては有効性や人選等継続的に議論していく必要性を感じました。次に訪問した視察先は山口県防府市で、人口は11万7700人。平成22年に議会基本条例を制定し精力的に議会改革に取り組んでおられました。ちなみに防府市においても議会モニター制度を導入しており、改めてその有効性の検討を考えさせられました。また、防府市議会の予算審査の流れは、本市における検討にあたり大いに参考にできるものがあり、非常に有意義な視察でありました。

さらなる紙面の充実と 市民の意見の反映を!

— 議会広報広聴調査 特別委員会視察報告 —

4月15日から2日間、
愛媛県西予市、高知県土
佐清水市を視察しまし
た。

西予市では、通常の議
会だよりの紙面で、ま
ちかどインタビューを掲
載されていた。市民の
声が聞かれ、ぜひ浜田
市議会だよりに取り組
みたいと感じました。

賛否公開状況・方法等
について、議会報告会
の手法について・市民
との意見交換会につい
ては、西予市議会と市
民との意見交換会実
施要綱を定め実施され
ていました。6名から
7名で班編成され

ており、議会に対する要
望・提言等で重要なもの
は、取りまとめ、全員協
議会に諮り、必要に応じ
委員会に付託してしま
した。浜田市議会におい
ても、議会に対する要望・
提言を今後どう反映して
いくか、大変重要な課題
であると感じました。



土佐清水市では、土佐
清水市議会だより発行に
関する規定を、平成14年
に作成し、この規定に基
づいて編集をされ、浜田
市議会も市議会だより発
行に関する規定の作成
は、検討すべきだと感じ
ました。

議会報告会の手法につ
いて・市民との意見交換
会についての2件は、議
会報告会終了後、市民と
の意見交換会に移行す

る。土佐清水市議会で
は、3月議会（当初予
算）、9月議会（決算審
査）終了後、市内5地区
で、正副議長を除く12人
を4班に分けて開催して
いる。班構成は議運で協
議し、班ごとに、班長・報
告者を選出し、議会報告
会代表者を開催し、各
班共通の報告事項、配布
資料の作成に関すること
を協議。報告会は、2時
間以内で実施し、議会報
告は約30分、市民との意
見交換に多くの時間を取
るが、この意見交換によ
り市民と議会とが活発に
意見交換を行っているこ
とであり、浜田市議
会も、班構成・人数等々
について、検討すべきと
感じました。



知ってナッ得!

「議員の任期」って?

皆さん、市議会議員の任期が4年ということはご存知だと思います。現在の浜田市議会議員の任期は平成21年10月23日から本年10月22日までで、10月には市議会議員選挙が行われ、次期の議員任期は本年10月23日から平成29年10月22日までの4年となります。

では、議員の任期の始まりの日は、どうやって決まったのでしょうか。実は、公職選挙法で、「地方公共団体の議会の議員の任期は、一般選挙の日から起算する。」と定められており、浜田市の場合は、平成17年10月1日の市町村合併後、最初に行われた一般選挙が同年10月23日だったことから、この日が議員任期の始まりとなりました。

「でも、選挙は議員の任期満了より前に行われるけど任期の始まりは変わらないの?」と思われる方がいるかもしれません。これについても公職選挙法で、「任期満了に因る一般選挙が議員の任期満了の日より前に行われた場合は、任期満了の日の翌日から起算する。」と定められており、原則的には4年に1回の任期開始の日が変わることはありません。



元氣臨時交付金で 暮らし応援の事業を



西村 健 議員
答 必要であれば
検討したい

質問 国の元氣臨時交付金の交付限度額と、それに基づき編成した事業の考え方について問う。

答弁 国の24年度補正予算における財源の考え方は、事業費から国庫補助金等を引いた地方負担額に対し、8割を元氣交付金で充当、残り2割を補正予算債で措置する大変有利な内容である。

これを最大限活用し、本庁舎耐震改修事業や長浜西住宅建設事業の補助採択を受け、現時点で元氣交付金は9億9千万円の内示を受け、最終的には10億8千万円の交付限度額と見込んでいる。

質問 元氣交付金と補正予算債の活用により、今後の財政運営にどんな影響があるのか。

答弁 今回の各事業は、中期財政計画に計上済み

の事業であり、実施時期が早まったものと考えている。

本来、地方債による調達を必要としていた財源が元氣交付金に振り替わるため、将来の公債費負担の軽減につながる。

質問 浮いた財源を、市民の暮らしや地元企業を支援する事業に活用する考えはないのか。

答弁 円安の経済情勢でもあり、緊急の対策が必要であれば検討する。



▲耐震改修工事が始まった浜田市庁舎

国からの経済対策予算を 着実に地元企業へ



道下 文男 議員
答 地元企業活性化へ
十分に配慮して取組む

質問 国から経済対策として30億円近い予算が市に交付される。貴重な財源であり予算執行には、地元企業活性化へ十二分に考慮して取組まれたいが。

答弁 予算執行には、地元企業にはもちろんのこと、市の経済活性化へ十分に配慮して取組む。現時点で全事業の5割を発注済みであり、相当の効果が表れていると認識している。

質問 あいさつはコミュニケーションの始まりである。元気でたくましい『はまたっ子』の健全育成へ全市での『あいさつ運動』の取組を図られては。

答弁 大いに有意義なことであり、検討したい。

質問 コミュニティスクールが全国で急増している。学校運営に地域が係わるというもので、出雲市では全小中学校で取組ん



▲あいさつ運動の推進を

でいる。いじめ・不登校の根絶とともに、はまたっ子の健全育成に極めて有効であると考えるが。

答弁 国の「いじめ防止法」の内容を見極めながら検討したい。

その他の質問

- 市長の進退について
- 市職員の給与カット提案の見送りについて
- 太陽光発電事業での市の経済活性化について
- 国の経済対策による市の観光振興について

ライディングパークは 順調に再出発できたか



平石 誠 議員
答 新管理者のもと
いいスタートがきれた

質問 本年4月26日よりレストラン部門が再開した、「かなぎウエスタンライディングパーク」のこれまでの入込客数、馬の調教、地域との連携、就労支援等の現状について聞く。

答弁 6月10日現在で、レストラン利用者が約2千人、その他、数の把握はできていないが、馬との触れ合い等かなりのお客さまが来場された。馬の調教については、昨年10月から乗馬インストラクターにより順調に調教を進めている。地域との連携では、地元自治会やまちづくり委員会等と定期的に意見交換を行い、6月2日には多くの二輪ライダーを集めたイベントを開催し、金城自治区内のまちづくり委員会からも模範店を出店した。就労支援については、就

労継続支援A型として8名の雇用を生んでいる。

質問 今後、どのような支援策を講じていくのか。

答弁 この施設や地域を多くの方に知ってもらうため、来場してもらうため、他の施設や人材を含めた資源とも連携し、市も一緒になって支援していく。

その他の質問

- 子宮頸がん予防ワクチンの接種について
- 小学校の英語教育について



▲多くのライダーが集まった6/2のイベント風景

米軍機騒音問題を

直接訴える考えはないか



三浦 一雄 議員

どうする水産業の 危機・燃油高対策は！



牛尾 昭 議員

今求められる市民視点に 立った行政運営



川神 裕司 議員

質問 浜田市は平成26年度国県重点要望事項の中で、米軍機による低空飛行訓練の中止を訴え、国が責任を持って騒音測定器を設置、各施設の防音対策の予算措置を講じる事とあったが、私も当然の判断であり国の負担で旭町認定子ども園近辺に設置すべきと判断するが市長の認識を問う。

質問 浜田市長として、防衛省・外務省・岩国基地に直接出向いて、被害の実態を訴える考えはないか。

質問 水産業の現状認識について問う。

質問 平成20年の125円に比較すると安いのが同21年の60円に比べると95円前後で推移しており、経営体にとっては厳しいと思う。

質問 自治会活動、行政連絡員活動、民生員活動業務を遂行するためには地区住民の最低限の個人情報把握が重要である。現在、住民基本台帳法のもと閲覧は可能だが、紙ベースでの情報の外部提供が必要と考えるが所見を聞きたい。

質問 自治会活動、行政連絡員活動、民生員活動業務を遂行するためには地区住民の最低限の個人情報把握が重要である。現在、住民基本台帳法のもと閲覧は可能だが、紙ベースでの情報の外部提供が必要と考えるが所見を聞きたい。

である。当市においても同一人物が各種審議会へ重複して参加するケースが見受けられる。重複就任の上限設定や女性委員の参画推進等、公募委員の選定方針に対する所見を聞きたい。

質問 防衛省等を訪れて実態を訴えることは必要であると考えている。しかし、浜田市長として単独で訪れても効果が少ない。構成市町及び島根県と一緒に訪れることについて、今後、協議会に提案し調整していく。

質問 水揚げ高が悪い中で、一番、燃油を使用するイカ釣り漁業が打撃を受けている。ポートセールスに向け、さらに対策が必要と思うが問う。

質問 現在、入港促進として商品券を出しているが、さらに相手方のニーズに合った支援策を検討したい。

質問 まき網・底曳漁業は、水揚げ減や燃油高騰、後継者不足で苦しんでいる。水産関連従業者2万人のために市長任期中に政策を打つべきでは！

質問 関係団体と連携し反対活動をしていく。

質問 5月29日「浜田市付属機関等の設置及び構成員の専任に関する方針」を決定した。ちなみに同一人物が重複して就任できる付属機関数を原則「5」とすることとした。

質問 国による騒音測定器設置については、島根県知事の働きかけにより、ようやく旭町の認定子ども園付近のビクターセンターに設置し、8月末頃測定開始予定と聞いている。国の責任による騒音被害等の実態把握、実態調査の実現に一步近づいたと感じており、測定結果等によって少しでも現状が改善されるよう期待している。



▲ 2/15 協議会設立

質問 現在、入港促進として商品券を出しているが、さらに相手方のニーズに合った支援策を検討したい。



▲燃油高騰に苦しんでいる水産業

質問 住民意見の反映のために各種審議会への公募委員の参画推進は重要



多産化も視野においた 少子化対策推進を



岡本 正友 議員

答 保育事業改善を図り子育て環境充実に努める

質問 本年度予算「保育士等処遇改善臨時特例事業」の取組と来年度以降の見通しについて問う。

答弁 待機児童の早期解消のため、保育士の確保が課題となっている。処遇改善に取組む保育所に、上乗せ相当額を運営費とは別に交付し保育士の確保を進めている。引き続き国の事業継続を要望する。

質問 「保育所入所受入促進事業」の実施状況と今後の見通しについて問う。

答弁 年度中途の0歳児受入拡充を図る助成の実施から0歳児入所が対前年比より22名増加し事業効果が現れている。事業継続から来年度以降も受入体制が図られると考える。

質問 少子化対策の数値目標設定と第二子第三子

を産み育てる多産化も視野においた保育環境整備について問う。

答弁 出生率の数値目標は難しいが、保育事業の継続実施や既存制度の改善などにより、子育て環境の充実を図り、安心して子供を産み育てられる環境づくりに努めたい。

その他の質問
○島根県からの福祉事業の権限移譲について



▲保育園の0～3歳幼児

今でしょ！「幸せの トライアングル巡り」



布施 賢司 議員

答 一つのテーマで結ぶ事は魅力的で効果がある

質問 今、国内外の観光客誘致は観光資源の魅力をどう発信しどう伝えていくか、新しいアイディアが必要とされている。そこで地域資源の共通する魅力を、一つのテーマで設定して巡る「幸せのトライアングル巡り」の提案をする。アクアス「幸せのパブルリング」、豊ヶ浦「幸せを呼ぶ化石ハッピーシェル」、長浜台地「元気を与えるパワフルストーン」。これら幸福感や恋愛成就、元気がもたら

る魅力と結びつけて、全体をパワースポットにして巡り、遊び心がある誘客増の仕掛けをすべきではないか問う。

答弁 提案は魅力的で効果的であると感している。また、地域に眠る資源の周知も重要と考えている。6月は環境月間、

ごみの処分経費と資源ごみリサイクルの収益金について問う。

答弁 各年度、10億を超える処分経費である。その中でリサイクルによるペットボトル等の収益は平均千5百万円前後、鉄くずの収益は例年1千万円以上の収益がある。

質問 4月施行の小型家電リサイクル法の取組は、**答弁** 社会的にも大きな意義があるが、具体的な導入の取組はしていない。

アクアス



長浜台地

豊ヶ浦

市民の健康づくりは 何より参加



芦谷 英夫 議員

答 健康づくり活動の支援を継続する

質問 特定検診の受診率、25年度受診率目標50%は達成できるか問う。

答弁 24年度約42%で横ばいで推移、目標50%とは開きが大きく、自己負担を3年間無料とする。

質問 脳ドッグなどの受診者の動向、希望者全員の受診を問う。

答弁 脳ドッグは受診者の1.24倍。脳ドッグ3年連続抽選漏れの人は優先受診できるようにした。

質問 雇用状況、春闘の賃金引上げの状況を問う。**答弁** 有効求人倍率、失業率など雇用状況は厳しい。春闘の妥結額は3115円で昨年比26円のマイナスである。

お願いしている。入所受入促進事業で、15園32人の保育士が加配された。

質問 介護職員の処遇改善は進んでいるか問う。**答弁** 処遇改善加算は、地域密着型サービス事業所16中、15が実施した。

質問 空き家対策で市の横断組織、推進本部が必要であるが考えを問う。**答弁** 危険空き家対策検討委員会を進めている。副市長がトップの人口減少問題対策会議を立ち上げ、総力をあげ対応する。



▲健康づくりは何より参加

TPPによる産業経済に

及ぼす影響は



新田 勝己 議員

答 農業生産以外にも大きな影響が予想される

質問 年内交渉妥結（目標）と言われている。認識は。

答弁 年内交渉が進められている。輸出産業を中心にメリットがある一方で、農業分野は大きなダメージを及ぼすと認識している。

質問 県が影響の試算を公表した。市の試算を問う。

答弁 県は関税撤廃し、対策を取らない前提の試算であり、市の農産物に充てると農業産出額37億円が19億円と試算され農業産出額が半減し、大きな影響があると考えている。

質問 少子高齢化と人口減少への対応で市の人口推計の見直しについて認識を問う。

答弁 総合基本計画で平成37年の人口推計は「島



▲無人となった家屋

根あさひ社会復帰促進センター」の入所者を含めた人口は、5万1400人で1万243人の減少となり、少子化、高齢化に伴い急速に人口減少が進むことが推測される。

質問 小規模高齢化集落に対する支援策は。

答弁 通院、生活用品等に不便を感じている。住民ニーズを踏まえ地域ごとに対策が必要である。

気仙沼市の復興住宅

支援をオール浜田で！



西田 清久 議員

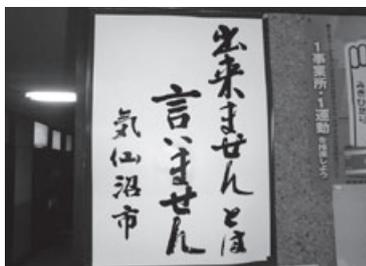
答 関係団体へ働きかけていく

質問 宮城県気仙沼市の沿岸地域は、壊滅的な被害を受けており、被災住宅棟数は1万5千棟を超えている。新しいまちづくりによる集団移転の準備も進み、平成26年、27年をピークに相当数の住宅着工が予定されている。しかし、課題は大工さんの不足と建築坪単価が高騰していること。

そこで、浜田市の資源を活用し、建築関係団体と連携してオール浜田で気仙沼市に「浜田の家」を1棟でも多く建てることのできないか問う。

答弁 浜田市の物的、人的資源を活用し、島根県や建築関係団体と連携した取組は、被災地の皆さんに大きな期待を持っていただけるし、大工さん、木材、石州瓦、住宅設計のノウハウなどの浜田市

の資源の活用で、木材、石州瓦などの主要地元産品の消費拡大につながり、地元経済にも良い影響を与えるものと思う。「浜田の家」については、関係団体へ働きかけていく。



▲気仙沼市役所ロビーにて

質問 行政と関係団体の代表者として現地へ取材に行ってはどうか。

答弁 検討するが、すでに現地に行っている関係者からの取材もできる。

その他の質問
○浜田市の情報発信について

浜田の海に必要な

「渚の交番」の建設は？



笹田 卓 議員

答 実現できるように関わっていく

質問 浜田の海の安全・安心のために必要な「渚の交番」建設への関わり方は。

答弁 浜田の海にとって有益な施設と位置づけている。実現できるように関わっていく。



▲浜田の海を安全・安心に！

質問 浜田道を無料化できないか。

答弁 無料化は大変困難であるが、過疎地域社会実験として、大幅な割引を求めていく。



▲通行量が減る浜田道！

質問 放課後児童クラブの利用を6年生まで拡充できないか。

答弁 平成27年から可能になる。



▲長浜小内に設置された「とびうお学級」！

自治区制度の今後に対する 市長自身の想いは



答 見直しを行いながら
継続を願う

佐々木豊治 議員

質問 現在、再検証が行われている浜田那賀方式自治区制度の今後の方向性について、市長自身の見解を問う。

答 見直しを行いながら、制度としては継続を願うものである。

質問 予約型乗合タクシーが導入されて5年目となるが、今後、高齢化対策の一環として、広く普及する必要がある。持続可能なデマンド交通の基本スタイルが、一般タクシーを活用した取組と
思うがどうか。

答 一般タクシーを活用した事例に、山口市の「グループタクシー制度」があり、有効な手法の一つと考えている。一般タクシーの利用促進にも寄与するものであり、研究を進める。

質問 高齢者世帯のごみ

の排出について、戸別収集の条件まで満たず、許可業者に依頼するほどの量ではなく、困っておられる世帯がある。費用負担は多少かかっても、日々のごみの排出に、民間業者に収集してもらえ取組ができないか問う。

答 市民から同様の質問は多く寄せられており、民間を活用した対処やボランティア的な対処の仕方など研究していく。

その他の質問
○子育て支援センターの
改築について



▲子育て支援センター「すくすく」

小規模高齢化集落の 現地調査結果は？



答 人口減少問題対策
会議を立ち上げた

田畑 敬一 議員

質問 小規模高齢化集落の現地調査結果はどうか。

答 24年度は、買い物や通院の移動手段、福祉・介護等各種支援状況の問題や基礎的事項について聞き取り調査を実施した。

質問 市内には、71の小規模高齢化集落がある。中でも緊急性が高い集落が35もある。市は部局を横断した取組が必要であり、県と連携を図りながら総合的、一体的に推進するとしているが、具体的には。

答 副市長をトップとする「人口減少問題対策会議」を立上げ、今年度は、「集落機能の低下による諸課題に対する調査研究」、「地域人材の育成に向けた社会教育の推進」、「保健医療福祉分野における従事者不足への対応策」の3項目を、調



▲負担の大きい集落水道

査・研究をする。

質問 集落水道の実態を自治区別に問う。

答 三隅、4団体、弥栄、7団体がある。

質問 集落水道の維持管理費の状況を問う。

答 電気代、水質検査料、保守点検代等を集落が負担している。

質問 三隅自治区が実施している施設機器取替補助金要綱を参考に考えるはないか。

答 前向きに検討し、対応する。

ふるさと浜田に誇りが もてる景観づくりを



答 今年度中を目途に
景観団体移行を準備

江角 敏和 議員

質問 浜田市や石見地域が景観づくりを推進する意義・役割・責務を問う。

答 自然、歴史、文化等の良好な景観を維持、促進することで、地域の発展や豊かさを実感できる意義は大きい。それを次世代に引き継いでいくことが我々に課せられた役割、責務である。

質問 浜田市の個性豊で特性ある景観は、どんな景観及び地区か問う。

答 綺麗な海岸線があり、一部にはその背後に石州赤瓦が織りなす家並みもある。また、島根景観賞を受賞した棚田等、特性ある景観が多い。今後、さらなる景観資源を洗い出し、特性ある地区の選定を行っていく。

質問 棚田の維持や石州瓦の生産等に携わっている方達の励みに繋がるよ

うな施策を展開された。今後の取組を問う。

答 2力年かけ委員会を設置し、景観計画を策定する。また今年度中に景観行政団体移行を準備し、条例は景観計画策定に併せ、平成27年度以降早い段階に策定する。産業の育成にも繋がるよう努力していきたい。

その他の質問
○若者が浜田で働き続けられる環境づくりを
○浜田で学び・暮らし続けられる環境づくりを



▲三隅室谷の棚田

芸術文化を通して 地域の活性化を！



答 検討していきたい

原田 義則 議員

質問 浜田市の市民の皆さんによる地芝居大会や、演劇フェスティバルがここ数年実施されているが、高齢化などにより後継者である座員が減少傾向にある。活性化を図るためにも市も一緒に取り組む必要がある。全国規模の大会などができないものか問う。

答弁 全国規模のものにするためには、もう少し醸成期間が必要かとも考える。しかしながら、より一層活性化を図るためには、市の協力が必要と考える。今後もこういったイベント開催を企画する石中央文化ホールとともに検討を重ねていく。

文化であることが紹介報道された。全国で唯一、同座のみであるとのことである。貴重な演劇文化財として後世に継承していくことが必要と考えるが所見を問う。

答弁 地域の皆さんや、専門家のご協力をいただきながら学術的な調査研究が必要となるので、その手法についても検討していく。



▲貴重な演劇文化である山陰久佐松竹座の節劇

読みやすい議会だよりを目指した4年間

1期4年の議員任期が終わろうとしています。

あわせて編集委員としての役目も終わります。

前後期に分かれた編集メンバーは、常任委員会の構成から入れ替えの2名の変更があったもののほとんどが残って編集に携わってきました。

前期の16号から23号までと、後期の24号から30号と、新たな取組の議会報告会において市民の皆さんからいただいた質問と回答を掲載した特別号の計16号を発行しています。この間の取組は、多くの皆さんに読んでいただけるような議会だよりを目指した4年でした。文字をできるだけ大きくし、写真やイラストなどを多く取り入れ、バランスを考えながら配置をしました。また、グラフや表などを掲載して、より理解しやすいように整理しました。そして個人一般質問は、2段に構成し、標題には主な質問と、その回答をのせることによってわかりやすくするなど、市民の皆さんの意見をいただきながら改革をしてまいりました。今回をもって議会だよりの発行は、次期改選議員にバトンタッチされることとなりますが、今後も、市議会だより（紙面）を通じて、読者である市民の皆さんと市議会を構成する議員との距離感を少しでも近づけられるよう、誰からも読みやすく親しみを持たれる広報紙の発行がなされると思います。4年間のご愛読、誠にありがとうございました。



あとかき

小規模高齢化集落・市街地の空洞化、いずれもいい言葉ではありません。県中山間地域研究センターの人口カルテは、7年後の旭自治区、都川地区は、高齢化率77%になると試算されています。今年も昨年に続いて、都川の棚田で、えんがわ喫茶が開催されています。先人から脈々と引き継がれた地域の財産を、地域の方々が守ることが、都川地域の地域力であります。人口減少・高齢化になっても心だけは、過疎にならないようにしたいです。今回、任期最後の議会だよりの発行となりました。4年間ありがとうございました。（記）田畑敬二

【編集委員】

田畑 敬二	委員長
岡本 正友	副委員長
笹田 卓	委員
布施 賢司	委員
佐々木 豊治	委員
西田 清久	委員
三浦 保法	委員
山田 義喜	委員
牛尾 昭	委員
美浦 美樹	委員

★この議会だよりは1部あたり42・88円でできています。

〔議長なんでもメール〕

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。必ず議長自ら回答させていただきます。（住所・氏名を明記の上、送信ください）
E-mail アドレス：chairman@city.hamada.shimane.jp